

17年前から取り組みの一つとして取り入れている『ミュージック・ケア』をご紹介します。

ミュージック・ケアの素晴らしいところは、対象者が「誰でも」なので、言語や視覚・聴覚によるコミュニケーションが困難な方も安心して参加できる事だと思います。様々なジャンルの音楽に合わせて体をタツピングしたり、鈴や鳴子など音の出るものを鳴らして心地よい刺激を体感してもらっています。シャボン玉を飛ばす場面では、利用者の方だけでなく職員も一緒になりとても良い表情が見られます。

今後も利用者の方の笑顔がいっぱい見られるよう、益々楽しいセッションをしていきますので応援よろしくお願いします。

生活支援科長 那須



給食紹介

お正月

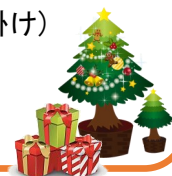


クリスマス



メニュー

- ・カニあんかけチャーハン
- ・チキン南蛮(タルタルソース掛け)
- ・コーンスープ
- ・サラダ



- ・海鮮散らし寿司
- ・蟹真薯
- ・カマボコ
- ・清汁
- ・芋餡
- ・唐揚げ
- ・鰻巻き卵
- ・昆布巻き
- ・イチゴ
- ・寿・松竹梅饅頭

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。昨年5月、元号が平成から令和に変わった事で、令和初めての年末年始となりました。そして今年の干支「ねずみ」は十二支一番目であり、はじめからスタートする「いい区切り」「新しい年」になる期待がもてるそうです。皆様にとって明るく良いスタートがされる年となります様に。



職員コラム ～あんなこと、こんなこと～

耳の遠い年老いた母と仕事とのつまらない生活の中。一点の光を輝らしてくれる孫。口が達者でおしゃべりさん。私の事を「お年寄りやきね」と優しくいたわってくれる孫。大方にも一人で平気に泊りにも来ます。孫との時間は私にとっての癒しの時間です。

看護科長



幡多希望の家

◆◆ No.13 ◆◆



TEL (0880) 66-2212 FAX (0880) 66-2215
HP ▶ <http://www.hatakibou.jp/>
Mail ▶ hataki01@mb.gallery.ne.jp
＜発行所＞〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山867番地
＜発行日＞2020年2月5日

医療型障害児入所施設
療養介護事業
幡多希望の家

施設長便り

第13号

あけましておめでとうございます。令和2年1月12日、幡多希望の家主催の成人式が行われた。平成29年1月以来である。私にとってはこの施設での2回目の成人式である。今回成人式を迎えたのは河野直人さん、吉尾凜さんの二人である。

無事成人を迎えられたお二人とご家族の皆様方に心からお慶び申し上げます。

河野直人さんが平成12年3月13日に誕生されてから、今日までの20年近い年月の間、直人さんはたくさんの病と闘って来られたことは想像に難くありません。その長く厳しい病との闘いの中で直人さんを支え続けてきたご家族には、私には想像も付かないご苦労があったと思います。

今日そのご苦労のほんの一部が報われて、直人さんが成人の日を迎えられました。

直人さんのご家族の方々、これまで直人さん家族の方々の長年支えてこられたすべての関係者の皆様に深い敬意を払うとともに、一緒に喜びを分かち合いたいと思います。

また吉尾凜さん。もうすぐ18歳という青春の一番輝いている時期、この先無限の可能性が広がっている、希望に満ちた時期に突然見舞われた交通事故による重大な障害。ご家族にとってはなんとも残念な結果であったと思われる。

私は平成28年の5月に希望の家に赴任してまいりました。7月に神奈川県知事府知事施設で痛ましい事件がありました。そしてその事件の裁判が先日から始まりました。被害者の名前は何かかほとんど匿名です。なぜかちととした本名が出ないのか？亡くなつてからでも彼らには一人の長年生きてきた人としての人権はないのかと思います。事件の加害者の言葉、社会に役に立たない人は生きていく価値がない。なんと切ない言葉なのではないでしょうか。社会に役に立つとか立たないとかの価値判断はだれがするのか、社会とは何なのか？国家の事？地域の事？家族の事？

私は高知県の中山間地域で長く住み慣れた地域で完結できるような医療に携わってきました。癌を初め現代の医療では治療を目指すことが出来ない病者の看取りを在宅医療を含めた地域医療を実践してきました。

その中で学んだ言葉の一つに、not doing but being があります。あなたが苦しんでいる病を治す手立てを私は持っている、あなたの病を治すことはできないけれど、でも私はあなたのそばにいますよ、決してあなた一人にはしませんよ、という意味の言葉だと私は理解してきました。

今日はその言葉を逆の立場から考えてみたいと思います。それは、あなたの方の子供たちが発するメッセージです。障害のレベルは様々です、全く周囲の状況を理解できない人もいます、他者



・今年の門松も
管理職員の手作りです。

施設長 山本 洋

さくらんぼ(通所)の取り組み



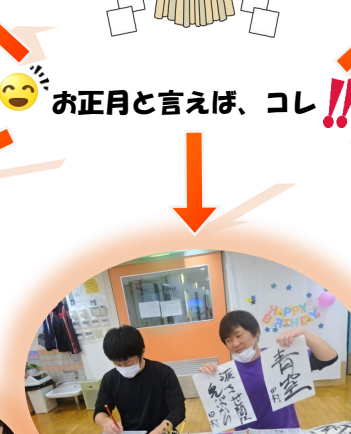
★器用なサンタさんですね！



★どこからサンタさん登場



😊お正月と言えば、コレ!!



😊初詣の場所は、もちろん延光寺ですよ



😊はてさて
今年の運勢は…!?

寺務所でおみくじを購入

成人式



令和2年1月12日、当施設で成人式が行われました。

今年の新成人はのぞみ病棟の吉尾凛さん・通園利用者の河野直人さんのお二人ということで、病棟担当者として通園担当者の合同プロジェクトとして準備がスタートしました。

人生の大きな節目である成人式のお手伝いをさせて頂くことは、成功への責任感と緊張はもちろんです。しかし、不慣れなこともあり連絡にミスがあったり、スタッフ同士の時間が合わず準備が予定より遅れたり、周囲の方にご迷惑とご心配をかけながら準備は進んでいきました。

そして迎えた成人式当日。粋な袴を召したお二人のなんと凛々しく立派な姿。いつもより一回り大きく見えるその姿に「かつこえいねえ!」「立派やねえ!」と声をかけながら早くも感動が込み上げて来たのでした。

式が始まり会場であんなお二人は、厳かな雰囲気の中少し緊張したようにも見えましたが、ご家族の声やご来賓の方の懐かしい声に次第にリラックスされたようでした。式の方はというと、予想以上に多くの方にご参加いただき、急遽椅子を増やすという嬉しい誤算。それでもご迷惑をおかけしてしまう事となり、ここでもご迷惑をおかけしてしまう事となりました。

そして黒潮町長や宿毛市長をはじめ、ご来賓のたくさんの方からお祝いの言葉をいただき、あたたかい雰囲気の中で無事終了する事が出来ました。

ご協力下さった皆様とご参加下さった皆様のおかげで良い成人式となりました。どうもありがとうございました。

実行委員 在宅支援主任 松田

